

一般財団法人 守 谷 育 英 会
2025年度 奨学生募集要項

1. 応募資格と奨学金の目的

- (1) 東京都内の高校、高専、短大、大学、大学院に在学、または東京都内に居住し高校、高専、短大、大学、大学院に在学している学生生徒のうち、学業、人物とも優秀であり、学資の支弁が困難な者。※昨年度10月に、秋入学者向け奨学金に応募した学生は対象外。
- (2) 外国人留学生も、適格者は採用する(住民票添付必要)。 但し、国費留学生の応募は不可。
- (3) 奨学金の目的：上記(1)(2)の学生への学資支援が、当財団奨学金の目的である。

2. 奨学生の給付額	高 校 生	月 額	40,000円
	高 専 生 (本科)	"	100,000円
	高 専 生 (専攻科)	"	140,000円
	短 大 生	"	100,000円
	短 大 生 (専攻科)	"	140,000円
	大 学 生	"	140,000円
	大 学 院 生 (専門職学位課程)	"	140,000円
	大 学 院 生 (修士・博士課程)	"	170,000円

※当財団奨学金は給与のため、返済の必要はありません。併願・併給可能。

※採用された学生の中で特別に成績が優秀且つ経済的な事情により修学が困難な者には、通常の奨学金給付額に月額2万円を加算して支給することがあります<採用時及び在籍期間中(毎年審査)>。

3. 奨学金支給期間 卒業(修了)までの最短修業期間 ※初回は4月に遡って給付

4. 採用予定人数 約80名{昨年度採用数87名(応募者総数845名)}

5. 応募書類の受付期間

2025年4月1日(火)～2025年4月30日(水) 午後5時迄

※(一財)守谷育英会 必着 ※学校経由で応募していただくため、学校の締切期日に合わせること。

6. 応募必要書類 下記(A～H)を揃えて各学校の奨学金ご担当者へ提出。

A. 奨学生願書(当財団所定用紙…様式1～4 ※様式2は、日本人は2-A、留学生は2-Bを使用)

※願書は本人自筆で記入のこと。また、必ず在籍する学校から取得してください。

B. 成績証明書(原本提出。但し、大使館又は学校で原本証明を取得すればコピーでも可。)

- 学部新入生：在学校に入学する前に卒業した学校の成績証明書。※調査書でも可。
※日本語学校及び専門学校の成績証明書は不可。
- 学部在學生(大学院生は除く)：在学校の成績証明書。
- 学部編入生：在学校の成績証明書と、編入前の学校の成績証明書の2通。
- 修士課程新入生：学部の成績証明書。
- 修士課程2年生：学部の成績証明書と、修士課程の成績証明書の2通。
- 博士課程新入生：学部の成績証明書と、修士課程の成績証明書の2通。
- 博士課程2年以上の院生：学部の成績証明書、修士課程の成績証明書及び博士課程の成績証明書の3通。

C. 在学証明書(2025年4月以降発行のもの。原本提出。コピー不可。)

D. 父、母、あるいは主たる家計支持者の前年の所得証明書(1通)※外国人留学生は提出不要。

- 給与所得者 … 2024年分の源泉徴収票(コピー可。)
- 給与所得以外 … 税務署等による2024年分の所得を証明するもの(コピー可。)

【例】所得証明書、非課税証明書、確定申告書(控)等(コピー可。)確定申告書(控)は「第一表」を提出。

※2024年分が提出できない場合、2023年分を添付の上、様式1-2/3の家族状況備考欄に2024年分取得不可の理由を明記すること。

※書類は、マイナンバーの記載がないものを提出してください。

E. 指導教員または主任教授の推薦書(1通)※必ず全文自筆・親展、応募者本人の閲覧不可。

※推薦書依頼時は、奨学金が必要である状況を詳しく伝え、以下の要領で作成を依頼してください。

(新入生の場合、卒業した学校の先生又は親族以外の方に依頼すること。在学校の指導教員に

お願いする場合は、応募者が奨学金を必要とする理由をよく説明した上で依頼すること。)

- 全文本人自筆のもの(サインだけ自筆は不可。自筆での推薦書が作成できない場合には、その理由を推薦書に明記ください。)
- 親展(一般財団法人守谷育英会 宛に封緘の上、願書に添付してください。)
- 書式は自由です。用紙、枚数の指定はありません。
- 推薦書に、作成した日付、また推薦者と応募者の関係を明記してください。
- 推薦内容については、応募者が学術優秀で奨学生としてふさわしいことはもちろんのこと、家庭環境・経済面等、奨学金を必要としている状況を記載してください。
- 推薦書は、英文でも結構です。但し英語以外の言語の場合、応募者本人以外が作成した訳文を添付してください。(訳者氏名を明記のこと)

※推薦書は、選考に際し応募者について知るための重要な書類です。応募者の人柄、家庭環境、経済状況、学術関係等を詳しく記載していただきたいので、御校指定以外の用紙に記入いただくこともご検討ください。

F. 写真1枚(6ヶ月以内に撮影した上半身、正面、無帽、タテ4.5cm×ヨコ3.5cm)

※願書様式1-1/3の写真枠にしっかりと両面テープで貼付、裏面に氏名を記入すること。

G. 東京都の住民票の写し(2025年4月以降発行のもの。コピー不可。)

①日本人学生: 東京都内に居住し、東京都以外の学校に在学する方のみ提出してください。

※東京都内の学校に在学の日本人学生は、提出不要です。

②外国人留学生: 留学生は全員、提出が必要です。

※マイナンバーの記載がないものを提出してください。

H. 修士・博士課程に在籍する学生で、学会に提出した論文があれば、別紙A4用紙(様式自由)

1枚に詳細(論文提出日・タイトル・学会名・第一筆者かどうか)を記載して提出ください。

7. 選考方法

(1) 第1次: 書類審査

本人及び各学校のみに審査結果を送付いたします。(面接日より1週間前頃を予定)

※書類審査不合格の通知は学校のみとし、本人には通知いたしませんのでご了承願います。

(2) 第2次: 面接(書類審査通過者のみ)

6月16日(月)～6月20日(金)を予定。※面接予定日は変更の可能性があります。

面接審査の結果は、6月下旬頃に決定し、本人及び各学校宛に書面で通知いたします。

8. その他

(1) 応募書類は、一切返却しません。

(2) 応募先、及び問い合わせ先

一般財団法人守谷育英会 事務局

住 所 : 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-22

TEL : 03-3271-2734 ※電話対応: 平日午前9時～午後5時

※申請者本人並びに学校関係者の問合せのみ、対応いたします。

よくある質問と回答をまとめた、別紙Q&Aもご参照ください。

《個人情報取り扱いに関して》

当財団は、ご提出頂いた申請書に記載された個人情報を、選考や事務連絡に使用いたします。また、収集した個人情報は適正に管理し、ご本人の同意なく無断で第三者に提供することはいたしません。

以 上

Q & A 2025

		質問内容	回答
応募全般	1	大学(大学院)の研究生ですが応募できますか。	研究生は対象としておりません。
	2	法科大学院の学生も応募の資格はありますか。	あります。
	3	他の奨学金と守谷育英会奨学金の両方受給できますか。	当財団は併願、併給共に認めております。他の奨学財団では、二重受給を禁止する場合がありますので、ご注意願います。
	4	採用する上での条件は、何を重視するのですか。	応募書類全てを見て、選考いたします。
	5	大学別の枠はありますか。	特にありません。
	6	私は〇〇大学の奨学金の担当をしています。 応募者を何名位に絞って推薦すれば良いですか。	当財団では、応募者数の制限はありません。取り纏め方法や選考方法は各大学窓口に一任しております。 (毎年非常に応募者が多く、応募大学が100校以上あり、仮に1校1名ずつ採用しても採用予定人数を超えてしまうという状況ですので、ご理解のほどお願い申し上げます。)
	7	卒業後に奨学金の返済義務はありますか。	当財団の奨学金は給与ですので、返済の義務はありません。
	8	卒業後に進路の制約はありますか。	制約はありません。
	9	守谷育英会の発足経緯と目的は何ですか。	(株)守谷商会の創業70周年記念事業の一環として、1972年に公益法人として設立しました。 学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な方に対して奨学援助を行っています。
応募方法	10	大学側が守谷育英会の締切日より早めに設定しているのですが。	各大学窓口を通して応募をお願いしているため、大学の締切日に合わせてください。
	11	応募書類を守谷育英会へ直接送付して良いですか。	各大学窓口を通して、応募してください。
願書	〈国籍〉	12 国籍は日本ではありませんが、日本の永住権を持っています。参考資料は "日本人用"ですか、"留学生用"ですか。	あなたの環境を考えて、書きやすい方を使用してください。 但し、様式1-1/3の留学生用枠内は記入してください。
		13 職歴の欄で2ヶ月以上の不定期雇用も含むとありますが、 アルバイトも含まれますか。	含まれます。
	〈家族状況〉	14 家族状況欄で別所帯の兄弟姉妹はどう記入するのか。	兄弟姉妹は全員記入してください。別所帯、別生計の場合、その旨わかるよう明記してください。 枠が足りない場合には、裏面に記載いただいても結構です。
		15 家族状況欄で兄弟が学生の場合、職業欄はどう書けばいいですか。	学校名、学部、学年を記入してください。大学院生の場合は修士、博士と学年を記入してください。
		16 前年度まで仕事をしていましたが、退職して今年度収入の見込みが分らない場合、 収入欄はどう記入すればいいですか？	前年の所得証明書を添付の上、収入欄には前年の収入額を記載ください。 備考欄には状況が分かるように、必要な説明を記載してください。
	〈奨学金〉	17 離別者の年収が分からない場合はどうしたらいいですか。	備考欄に不明と記入してください。
		18 貸与奨学金の受給総額はどのように記入すればいいのか。	過去に受給したものから、今後受給が確定している奨学金の、卒業時点での総額を記入してください。 例) 下記2つの財団から支給されている場合、受給総額は300万円となります。 財団A: 2023年4月～2026年3月迄、毎月5万円支給予定の場合、3年間×(5万円×12ヶ月)=180万円 財団B: 2022年4月～2023年3月迄、毎月10万円支給されていた場合、12ヶ月×10万円=120万円



Q & A 2025

	質問内容	回答
〈経済状況〉	19 年間授業料は設備費を含んだ金額を記入するのか。	施設設備費は含みます。(入学金は含みません。)
	20 私は自宅通学生ですが、経済状況欄はどう記入すればいいですか。	収入支出欄(様式1-3/3)は、応募者個人の収入支出を記載いただくものなので、負担している支出がなければ、0円と記入してください。 金額の横に「両親負担」等、同居の旨が分るように記載してください。
	21 経済状況欄の収支の合計が合わないのですが。	収支が合わなくても構いません。現状をありのままに記入してください。
〈身元保証人〉	22 身元保証人がいません。誰になってもらえば良いですか。	あなたが当財団の奨学生として相応しいということ、保証して下さる方にお願いしてください。 先生、アルバイト先上司の方 等。当財団の奨学金は給与のため、返済の保証人ではありませんので、その旨ご説明の上、依頼願います。但し、学生は不可とします。
〈研究テーマ〉	23 法科大学院に通っているのですが、研究テーマは特にありません。 様式2の研究テーマはどう書けばいいですか。	テーマは書かなくて結構です。学校で学ばれていることを具体的に記入してください。
〈推薦書〉	24 推薦書は自筆となっていますがサインのみ手書きではダメですか。	必ず全文自筆をお願いします。
	25 推薦書が自筆という趣旨は何ですか。	今回の応募のために推薦者ご本人が書いてくださったということが分かるように、自筆でお願いしています。お手数ですが、必ず自筆で記入していただいてください。
	26 推薦書は指導教員とありますが私はゼミに入っていないです。	あなたのことをよく知っている先生にお願いしてください。卒業した学校の先生でも結構です。 推薦書には、応募者と推薦者との関係を記載いただくよう依頼してください。
	27 推薦書は書式自由とありますが用紙の規定はありますか。	ありません。大学の便箋や一般の便箋でも結構です。 推薦書は選考に際し、応募者について知るための重要な書類です。事務局としては応募者の人柄、家庭環境、経済状況、学術関係等を詳しく記載していただきたいので、御校指定以外の用紙に記入いただくこともご検討ください。
	28 推薦書にはどのようなことを書けば良いのですか。	内容については、基本的に推薦者の方にお任せしています。推薦者と応募者の関係、応募者が奨学生としてふさわしい学生であること、奨学金を必要としている理由等記載されていることが望ましい内容です。(先生に現在の状況をよくお話しして、作成をお願いしてください。)
	29 推薦書は英語でも良いですか。	結構です。但し、英語以外の言語で推薦書を作成する場合は訳文を添付してください。
	30 所得証明書は何を添付すればよいですか。	源泉徴収票、所得証明書、非課税証明書、確定申告書(控)など。 所得が記入されているものであれば、構いません。(コピー可) 主たる家計支持者1名分で結構です。
〈成績証明書〉	31 成績証明書は原本のみですが、私は留学生で成績証の原本が1部しかなく、原本をつけることができないのですが。	オリジナルが一部しかない場合、コピーをとって大使館で原本証明をしてもらってください。 原則は大使館で原本証明をお願いしたいのですが、原本証明を入手するのに時間がかかるため、大学窓口で“原本と相違ない”と一筆書いてもらい、学生課印があれば結構です。
	32 成績証明書に開封無効とありますが、成績カウントの際、本人が開封して良いですか？	開封して結構です。
	33 成績が10段階評価ですが、評価・科目数をどのように記入すれば良いですか。	10及び9を5に、8及び7を4に、6以下はそれ以下とみなして記入願います。
〈面接〉	34 面接日の変更はしていただけますか。	申し訳ありませんが、変更できません。

一般財団法人 守谷育英会
2025年度 奨学生願書

※書類作成上の注意事項

- 1 黒インク又は黒のボールペンで記入のこと。
- 2 年号は西暦を使用し、日本語で記入すること。(自筆のこと)
- 3 記入は、楷書及びローマ字活字体を用いること。
- 4 数字は算用数字(1, 2, 3, 等)を用いること。
- 5 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。
- 6 所定用紙中のすべての欄に正確に記入し、該当事項がない場合は“なし”と明記すること。
- 7 未記入の箇所があるときは、選考の対象から除外される場合がある。

写 真

裏面に氏名記入のこと

6ヶ月以内に撮影した
上半身、正面、無帽、
サイズ 4.5cm×3.3cm
を貼付すること

しっかり両面テープで
貼り付けること

氏 名 生年月日 年 月 日 性別 男・女
フリガナ 年 齢 歳

氏 名 国 籍 出生地

※枠内は留学生のみ記入

NAME (Please underline surname)

IN NATIVE SCRIPT

IN ALPHABET

日本式の発音 (カタ)

〈パスポート〉

番号

発行日

発行場所

〈在留カード／在留資格〉

No./番号

status/在留資格

交付年月日

有効期限

住所 〒 -

[実家(親族と同居)・一人暮らし・寮・ルームシェア・その他]

TEL: - - 携帯: - - メールアドレス:

家族住所 〒 -
(FAMILY ADDRESS)

TEL - -

在学校 (高校・短大・大学生記入) ※西暦で記入すること。

____年 ____月 ~ ____年 ____月 ____大学 [学校] ____学部 ____学年
(入 学) (卒業予定)

在学校 (大学院生記入)

____年 ____月 ~ ____年 ____月 ____大学 ____研究科 ____専攻 ____学年
(入 学) (修了予定)

[専門職学位・修士・博士] 指導教員名

推薦書作成者 (学校名・会社名等)

(役 職)

※応募者が記入すること。(氏 名)

学歴 <在籍中のものから順に高校まで記入のこと> *留学生で兵役を終えた方は、兵役期間も記入ください。

(入 学)	(卒業・卒業予定)	(学 校)	(学部・学科)
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月	_____	_____
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月	_____	_____
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月	_____	_____
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____年 ____月	_____	_____

職歴 <2ヶ月以上の不定期雇用(アルバイト)を含む職歴 最近のものから記入のこと>

_____年 ____月 ~ _____年 ____月	勤務先 _____	職種 _____
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	勤務先 _____	職種 _____

家族状況 全兄弟姉妹・同居祖父母を記入のこと

続 柄	氏 名	年 齢	職業 (学校名、勤務先・役職名)	税込年収※1	備考
本 人					
配偶者					
子					
父					
母					

※1 単位：万円、留学生の家族収入は現地通貨にて記入

◎家族状況欄について記載上の注意事項

- ・死別の場合は年齢欄に「亡」と記入し、備考欄に享年と没年を「〇〇才／〇〇〇〇年」の通り記入。
- ・離別の場合は年齢欄に「離」と記入し、備考欄に年月を付記。
- ・父母が定年退職している場合は前職業を記入「前職：〇〇」。税込年収欄には現在の収入（年金、不動産等）を記入。
- ・兄弟姉妹が学生の場合は職業欄に学校名、学部（大学院生の場合は修士、博士別）、学年を記入。
- ・応募者本人が既婚の場合も自分の両親及び全ての兄弟姉妹を記入。（兄弟姉妹が既婚の場合も必ず記入）
- ・枠が足りない場合は裏面や別紙を使用。

奨学金 <過去の受給状況及び現在の受給、応募状況について全て記入のこと>

(受給期間)	(奨学財団名)	(制度)	(月 額)	(応募 受給状況)	(併給)
		(いずれかに○)		(いずれかに○)	(いずれかに○)
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可
_____年 ____月 ~ _____年 ____月	_____	貸与/給付	_____万円	応募中/受給中/完了	可/不可

・卒業時点での貸与奨学金の返済総額 _____万円

※過去に受給したもの、現在受給中のもの、これから受給が確定している貸与奨学金の返済額総額を記入ください。

- ・当財団に採用が決まった場合、他貸与奨学金財団を辞退されますか？（現在貸与受給中の方のみ、いずれかに○）
 辞退する（貸与財団名：_____） / 辞退しない

経済状況

・学費年額（入学金含まず、施設設備費等を含む）
 上記の内、学費免除額

・月額の平均収支

収 入		支 出	
アルバイト収入	円	住居費	円
職 種 ()		食 費	円
仕送額	円	図書費	円
誰から ()		交通費	円
他奨学金	円	その他	円
その他	円		
収入合計	円	支出合計	円

※月額の平均収支欄について記載上の注意事項

- ・応募者個人に掛かる月額収支額を記入のこと。自宅通学生は、住居費・食費等の負担額が無ければ0円で可。
- ・応募者が既婚の場合には、配偶者も含めた金額を記載すること。
- ・収入合計と支出合計は、同額にならなくても可。

誓 約

私は、貴財団募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用していただきたく申請いたします。
 申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、奨学金の支給を取りやめられても不服を申し立ていたしません。

一般財団法人 守谷育英会 御中

申請年月日： 2025年 ____月 ____日

申請者氏名： _____

印

※印鑑をもっていない方は、「印」に署名をすること。

身元保証人

※必ず記入してください。

※親族以外の方でも可(学生不可)。 但し保証人の自筆・捺印のこと。

※当財団は給付型のため、返済の保証人ではありません。応募者が当財団の奨学生として相応しいということを保証するものです。

保証人氏名

印

本人との関係

住所 〒

TEL

職業（勤務先・役職名）

参考資料

氏 名

大学・学部

<次の質問になるべく詳しくお答えください>

1. あなたは学校生活において、どんなことを勉強したいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この学校を選んだのはどうしてですか。

.....

.....

.....

3. あなたは卒業後、勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

卒業後の進路予定 ○をつけてください。

(就職・大学院進学(修士/博士)・その他 ())

<大学院生の応募者は次の事項も記入してください>

研究テーマ:

研究目的:

.....

.....

参考資料	氏 名	
[留 学 生 用]	大学・学部	

＜次の質問になるべく詳しくお答えください＞

1. あなたが日本に来て勉強しようとしたのはなぜですか。またどんなことを勉強したいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. この学校を選んだのはどうしてですか。

.....

.....

.....

3. 卒業したら母国へ帰りますか。日本で勉強したことをどのように生かしたいと思っていますか。

.....

.....

.....

.....

.....

卒業後の進路予定 ○をつけてください。
 (就職・大学院進学(修士/博士)・その他 ())

＜大学院生の応募者は次の事項も記入してください＞

研究テーマ：

研究目的：

.....

.....

参考資料	氏 名	
	大学・学部	

＜次の質問になるべく詳しくお答えください＞

1. 当財団奨学金に応募された動機

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 家庭状況について（家族状況・経済状況 様式1－2／3 家族状況欄の補足説明 など）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

参考資料

氏 名

大学・学部

<学業成績について>

下記注意事項を参照の上、提出する成績証明書の、評価毎の**科目数**(単位数ではありません)を直近の年度から順に上から記入し、直近1年間に取得した成績を成績証明書にマーキングしてください。
 ※添付する成績証明書は、評価科目数記入のために開封したもので結構です。

① 高校・大学(学部生)等の成績証明書

☆添付する成績証明書が下記それぞれの年度と異なる場合、正しい年度に訂正して科目数を記入してください。

点数評価 (100点満点)	① 100点～80点	① の内、 100点～90点 の評価が 分かる場合 その科目数 を記入して ください。	② 79点～70点	③ 69点以下
ABC評価 ※1 参照	(S) (AA) A		B	C 以下
優良可評価	秀・優		良	可
5段階評価	5		4	3・2・1
科目数 (2024年度) ☆				
科目数 (2023年度)				
科目数 (2022年度)				
科目数 (2021年度)				
科目数 (2020年度)				
科目数合計 ※3 参照				

② 大学院の成績証明書 ※大学院の成績は年度別に記入せず、合計のみ記入してください。

点数評価 (100点満点)	100点～80点	79点～70点	69点以下
ABC評価 ※1 参照	(S) (AA) A	B	C 以下
優良可評価	秀・優	良	可
5段階評価	5	4	3・2・1
科目数合計 ※3 参照			

<注意事項>

※1 科目数を数える際には、点数評価を基準に行ってください。

例 ABC評価で A=100～90 B=89～80 C=79～70 D=69～60 F=未取得という点数配分の成績証明書の場合でも、上記表の中の点数評価に従い科目数を記入してください。

※2 合格、認定などの評価の科目は、数には入れないでください。

※3 単位数に関わらず、科目数を記入してください。

大学院生で修士と博士の成績がある人は、修士と博士合算した科目数を記入してください。

※4 科目数が無記入の場合、書類不備とみなすことがあります。

※5 大学院修士2年生以上の方は、①、②、両方の表を埋めてください。

※6 大学1年生の方は、高校3年間に履修した全科目が対象です。

1～3年の全科目数を評価ごとに記入してください。